

Jspen 2017年度 栄養士・管理栄養士トレーニングセミナーに参加して

公立西知多総合病院 臨床栄養科 早川芳枝

今回のトレーニングセミナーは、1日目のみ参加しました。

まず、薬剤師である二村先生のがん患者の栄養管理から始まりました。がん患者の栄養投与については苦慮することが多く、特に緩和段階に移行する直前の管理に難渋していました。栄養投与のギアチェンジのタイミング、輸液減量のポイントがしっかり確認でき、改めて日頃の栄養管理での知識を確認することができました。またPICCについては、時間が押していたため少しゆっくり聴きことができず残念でしたが、現在当院でもその有用性から使用を勧めており、今後の輸液投与ルートを中心にいくことが示唆されていました。

管理栄養士の西岡先生の講義では、回復期病院の独自の対応の中でもIOE（間欠的口腔食道経管栄養法）という新しい栄養投与方法に接することができました。急性期病院との栄養管理の違いが興味深く、脳梗塞の症例が提示されIOE（間欠的口腔食道経管栄養法）を導入した患者の栄養管理について患者の希望を考慮してゴールを決めることの重要性を学ぶことができました。

最後の祖父江医師の講義は、心不全の栄養管理についてでしたが、「循環の生理学」を非常にわかりやすく教えていただきました。漠然とした心不全の病態がクリアになりました。なかなかこのような講義を聞くことが難しいと思われるので、今後も継続的に病態の講義を希望したいと思います。そして循環動態が安定してからの経腸栄養開始なのだと、改めて確認できました。

今回は、参加者同士のディスカッションは少なかったのですが、他病院・施設での栄養管理のあり方や現状を知る良い機会となるなど、ディスカッションの中から学ぶことも多いかと思えますので、座学に加えグループワークも積極的に行っていただきたいと思えます。

最後に、栄養士・管理栄養士部会の担当役員の方にはご尽力頂きましてありがとうございました。